

娘さんがお母様（67歳）に、松本医院受診を勧めた様子を綴った手記。
患者の家族としての心構えやサポートについて、ドクターの方針を深く理解され書かれています。

・娘さんによる手記

「メニエール病（難聴・めまい）・関節リウマチ・変形性関節症 手記」

三好 浩美 67歳

2014年11月4日

松本医院での治療および、その経過について

－患者家族から見た治療の実体験－

今からここに記す内容は、すべて私の家族が実際に松本医院を受診～治療した体験です。松本医院についてもっと知りたいと思っている、様々な病状に苦しむ方々に、少しでも参考にさせていただければという思いから記すものです。松本医院に関する情報は少なく、治療に不安を持ったりためらったりされる方も多いと思います。私の母も初めはそうでした。そもそも私が松本医院を知ることになったきっかけは、義父のリウマチによる痛みがひどく、近くのどの整形外科を受診しても一向に改善しなかったため、どうにか治せる治療を施してくれる病院はないものとインターネットで検索したことでした。様々なHPがヒットする中、治せると謳っていたのが（あやしい通販商品等を除く）松本医院でした。とにかく、HPを見てみようと思い、院長の論文から時間を忘れて読みました。専門用語や難しい表現も多く、一度読んだだけではスッと理解するには至りませんでした。読み終わった後の素直な感想は「なぜか納得できる、本当のことが書いてある気がする。」でした。どうしてそんな事を思ったのか、それは今まで受診してきた多くの病院での経験からです。義父が整形外科を受診し、レントゲン撮影・触診して「リウマチと変形性関節炎ですね。」「骨の軟骨がすり減ってしまっているの、骨と骨がこすれて痛みが出ています。」「お薬を出しますので、飲み続けてください。それで様子を見ましょう。」すべての病院でおおよそ同じ対応でした。そういった診療に私が不信を抱いたのには理由があります。まず、骨や骨の軟骨には神経がありません。したがって、軟骨がすり減って骨と骨がこすれ合ったとしても、それが原因で痛みを生じるはずはないからです。例えば、指の爪をこすり合わせてみてください。痛いですか？痛くないはず。爪にも神経はありませんからそのことから想像してみてください。そういっていただければ分かりやすいと思います。そういった事を質問すると、決ま

って返ってくるのが「原因は分かっていない。」でした。次に、薬を飲んでも痛みが変わらないと訴えると、「薬の種類を変えて様子を見ましょう。」この回答にもいつも不信を抱いていました。なぜなら、はっきりした原因も分からないのに一体何の薬なのだろう・・・と。何種類あるかも分からない薬を、どれが効くのかとまるで人体実験のように次々と使い続けていくことが果たして治療と呼べるのかどうか、私には疑問でしかありませんでした。そういった経験から、原因が分からないにも関わらず色々な薬を出す事を治療としている病院における信頼を失っていきました。そんな病院不信の状態にあった私が、松本理論を読んだとき、病気のメカニズム～病気へのアプローチまでがすべてきちんと解き明かされており、そこには原因不明という文字はなく、すべてが理論立てて矛盾なく解明されている事に驚き、そんな治療をする病院があるのだと初めて知り、衝撃を受けるとともに、この病院なら信じられるかもしれないと思ったのです。残念ながら義父の場合は状態の悪化により、松本医院での治療が間に合いませんでしたが、母には少しでも真の医療を受診し改善してほしかったので松本医院での治療を勧めました。ですが、初めからすんなり受診とはなりません。松本理論や患者の方の手記をコピーして読めるようにし、私なりの解釈も入れながら説明もしましたが、やはり一番大きな不安要素が「それまで全く馴染みのない漢方による治療」という点だったと思います。残念ながら、何よりも一番大切なことは患者本人の治療への信頼と意志だと考えていたので、その時点では無理強いせず本人に任せることにしました。

母の患った病気は、メニエール病と足の痛み（股関節痛）です。その後、大きな総合病院を受診し、女医の先生が担当で話しやすく、経過も良好と聞いていたので、しばらくは安心していました。しかし、通院すること数年、2014年3月に突然相談を受けました。今まで経験したことがないような激しいめまいと不快感に襲われ、それまで感じたことのない不安を感じたというのです。さらには、片耳が聞こえない状態になったと言うのです。それで、あわてて病院を受診したところ、入院してステロイド点滴治療をするように勧められ、私に相談してきました。ステロイドが怖い薬で、病院へ通院するのは自由だけれど、ステロイドだけは避けたほうが良いと日頃から伝えていたため、即断できなかつたようです。そして、このことがきっかけとなり母は松本医院での治療を決心しました。勧めてから数年を経ての受診となりましたが、母本人が自分の体験を通して、病院での薬を飲み続ける治療に限界を感じ、初めて真剣に治療方法について考えたようでした。大切なのは患者本人の意思なので、回り道はしましたがこれで良かったと思いました。

2014年4月、母は松本医院を受診し漢方薬と抗ヘルペス薬での治療が始まりました。慣れない漢方薬を煎じる作業に苦労しながらも、漢方薬・お灸・薬湯（お風呂で使用）と日々続けていくうちに次第に慣れ意欲的に治療に専念していきました。漢方薬での治療を進めていくと、リバウンドに苦しむことがしば

しばあると、多くの手記で綴られていたので、あらかじめリバウンドの可能性を強調して伝え、仮に起こっても冷静に受け止められるよう配慮しましたが、母の場合は幸いなことにリバウンドもなく順調でした。治療で特に困難だったのがお灸です。免疫を上げるために欠かせない治療ですが、とても手間がかかるものですし慣れるのに相当な時間を要します。おまけに、熱さとの戦いもあり苦戦している様子でした。ですが、高いお金と勇気を出して治療すると決めたので本当に毎日一生懸命がんばっていました。そうした治療の効果は想定よりも早く現れました。2014年6月中旬、4月に治療を開始してわずか2か月半で、アトピー症状が現れたのです。これは、松本理論を読めば理解できますが、症状が好転してきている兆しです。つまり、漢方薬での治療が効果を上げてきている証拠といえます。母は、それから痒みとの戦いでした。季節は夏に入り暑い時期だったので、痒みはととてもつらそうでしたが、薬湯に多く入ったり、冷やす等の応急処置をとりながらなんとか乗り越えていきました。

9月に入ると、アトピー症状も収まり始め、それを松本先生に報告すると抗ヘルペス薬の処方止まり、漢方薬だけの治療に変わりました。母は現在、年金生活のため正直に言うと経済的余裕はあまりない状態です。それでも絶対に良くなると決心して始めた治療のため、大変な様子でしたが切り詰めてがんばっていました。ですから、保険適用外の高額な抗ヘルペス薬（ヘルペスを殺すために必須です。）がなくなるということは、症状が好転していると同じくらい嬉しいことだったようです。

10月、アトピー症状はすっかり収まり、メニエール病の症状は驚くことに松本医院での治療開始以降まったく現れることなく、少しずつ免疫寛容に近づいているのではないかと考えています。ここまで、主にメニエール病についてその経過を記してきましたが、母のもう一つの悩める症状である足（股関節）の痛みについてもふれておきたいと思います。4月の治療開始から痛みの強かった下半身を中心にお灸を行ってきました。メニエール病は本当に好転してきているのですが、足の痛みは依然続いている状態です。これは私個人の考えですが、ヘルペスが原因とはっきり分かっているメニエール病とは違い、足の痛みというのはヘルペスがその原因の一つになっていることは確かだと思いますが、その他にも骨や筋肉等外科的原因が複合して痛みを起こしているように思います。ですから、もっと積極的なアプローチが必要ではないかと思い、針治療を勧めたところ近所の鍼灸院へ通うようになりました。まだ通院をはじめて1か月程度ですが、漢方薬で継続して免疫を上げながら、自宅で引き続きお灸をし針治療に定期的に通う治療に変えています。長年続いてきた症状であり、痛みなのですぐに効果が現れるとは思っていません。ですが、せつかくここまで免疫を上げることで状態が改善してきているので、足の痛みも諦めずに治療を続けていけばきっと良くなると信じてがんばっています。

多くの方が抗ヘルペス薬が高額なため、継続が困難と記されていますが、本当にその通りだと思います。経済的に余裕があれば、どんなに続けて使用したかわかりません。松本先生が社会保険事務所等に抗ヘルペス薬の保険適用を求める書面を出されても、回答はいつも冷たいもので、本当に必要な患者に本当に必要な薬が処方できない現在の医療事情はまさに疑問だらけです。それでも、ただ様々な症状に苦しむ患者を救うために日々奮闘されている松本先生には尊敬の念と感謝の言葉しかありません。本当にいい医師とは？と聞かれたら、今私ならこう答えます。「病気を治す治療ができる医師」話しやすいとか、いい人だからとか、〇〇病院の偉い先生とか、〇〇の権威、そういった情報は真の治療には何の役にも立たないということをここで知りました。しかも松本先生は、いつもこう話されます。「俺が病気を治すんじゃない、病気を治すのは自身の免疫や！」これはほぼ口癖です。(笑)一般の病院の医師なら、疑問だらけの治療を施しても「私が治してあげた」と大きな顔をしようなものです。松本先生はそういった観念で治療をしていないのだと思います。ただ、真の治療法を見つけそれに基づいて苦しむ人を助けようという一生懸命です。もちろん、あらゆる病気を治せるというわけではありませんが、もしこれから松本医院での治療を希望される方は、まずはHPをしっかりと読むことから始められるといいと思います。松本医院のHPにたどりついた多くの方は、現状に疑問や不安を感じている方だと思います。受診した多くの方も、初めはそうだったと思います。松本理論や多くの方が記されている手記もぜひ読んで参考にしてください。松本理論はここでの治療の基盤であり、とても重要な理論なので、きちんと自分で納得できるまで熟読し、理解した上で受診すればスムーズに治療に入っていけるのではないかと思います。ただし、初めにも記しましたが、一番大切なのは患者本人の意思です。本人が松本医院で治療に専念すると強い意志で臨まなければ、継続し改善することは厳しいでしょう。それには、家族や周りの支援もとても大切です。どうか、一人で悩んだり苦しんだりせず、周りに助けや協力を求めてください。私の母の場合も、途中で辛くなって投げ出したりしないように、定期的にフォローすることを欠かしませんでした。まだ全て完治したわけではないので、今後も漢方での治療は続くと思いますが、微力ながら支えてがんばっていこうと思っています。

長々と記しましたが、ここに書いたことは、紛れもなくすべて事実です。真の医療を見極める目と勇気を持って治療に臨めば、きっと個人差はあっても改善するはず。少しでも参考になればと思い書かせていただきました。ここまで、家族から見た治療途中経過報告とさせていただきます。今後も引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

